

故事成語④

テスト②

次の①～⑧にあてはまる故事成語を書きなさい。

ちようさんぼし

意味

故事

得点

/80
10点×8

① 朝三暮四

くんしはひようへんす

ごまかして相手をだますこと。

猿にエサを「朝3つ、夜4つやる」と言うのと怒ったため、「朝4つ、夜3つにやる」と言うのと喜んだ。

② 君子は豹変す

しゅつらんのほまれ

立派な人物は自分の過ちをすぐに改めるということ。

豹の毛が季節によって生え替わり斑紋が鮮やかになるように、態度を急に改めた。

③ 出藍の誉れ

げきりんにつれる

弟子が師よりも優れること。

荀子が青色は「藍」からとると「藍」よりも青くなると言った。

④ 逆鱗に触れる

しゅしゅ

目上の人を激怒させること。

竜のあごの下に生えた逆さ鱗に触れると、竜が激怒したという伝説があった。

⑤ 守株

がしんしょうたん

古い習慣にとらわれると時代に対応できないこと。

ウサギが切り株にぶつかり死んでしまった、男はもう一度ウサギを得ようと切り株を見ていたが二度と現れることはなかった。

⑥ 臥薪嘗胆

かなえのけいちようをとう

目的を達成するため苦しみに耐え努力すること。

鐘や鼎のような大きな器は簡単には作れず、年月がかかる。

⑦ 鼎の軽重を問う

じょちよう

権力者などの実力を疑うこと。

楚の国の王が他国の宝である鼎の大小や軽重などを尋ねた。

⑧ 助長

①力を貸して成長を助けること
②助けることで逆にだめになってしまうこと。

植えた苗を早く成長させようと引っぱ張り、苗を枯らしてしまった。

故事成語④

テスト③

次の①～⑧にあてはまる故事成語を書きなさい。

ちようさんぼし

朝三暮四

ごまかして相手をだますこと。

意味

くんしはひようへんす

君子は豹変す

立派な人物は自分の過ちをすぐに改めるということ。

しゅつらのほまれ

出藍の誉れ

弟子が師よりも優れること。

げきりんにつれる

逆鱗に触れる

目上の人を激怒させること。

しゅしゅ

守株

古い習慣にとらわれると時代に対応できないこと。

がしんしょうたん

臥薪嘗胆

目的を達成するため苦しみに耐え努力すること。

かなえのけいちようをどう

鼎の軽重を問う

権力者などの実力を疑うこと。

じょちよう

助長

①力を貸して成長を助けること。
②助けることで逆にだめになってしまうこと。

10点×8

No. () 年 組 氏名

得点 /80